

清流 川メール

発行日／令和2年6月4日

発行／静岡県河川協会

(事務局：交通基盤部河川砂防局内)

E-mail: kasenk_s@yahoo.co.jp

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260



竣工した浜松市沿岸域防潮堤(浜松市)



青野川(南伊豆町)

C O N T E N T S

令和2年度河川・海岸関係予算(静岡県予算)の概要 1・2
令和元年度の2月補正予算(国補正予算)について

県内のトピックス

3か年緊急対策と県土強靱化対策事業	3
水災害に対する減災対策の強化	4
浜松市沿岸域防潮堤の竣工	5
馬込川治水対策の本格始動(補助事業に新規採択)	
坂口谷川水門の早期完成を目指して(補助事業に新規採択)	6
津波防災地域づくりの取組の紹介	
太田川ダムで管理用小水力発電を開始しました	7
水難事故防止啓発活動 えんじょいリバー	

わがまちの川自慢

長泉町・南伊豆町	8
----------	---

最近の整備状況

災害派遣職員レポート 岩手県(釜石)・岩手県山田町	9
熊本県・広島県呉市	10

インフォメーション

「第19回しずおか川自慢大賞」が開催されました	11
新型コロナウイルス感染症の拡大防止について	
ごあいさつ	
静岡県河川協会事務局より	
公益社団法人 日本河川協会 個人会員募集のお知らせ	

令和 2 年度

静岡県河川・海岸関係予算の概要

＜当初予算＞ **424億1,413万円余**

(昨年度当初比105.8%)

健康で心のふれあう安全社会、自然を生かす美しい県土を形成するため、「災害に強い安全な地域づくり」、「うるおいのある水辺空間の整備」、「水資源の保全と有効利用」などを目標に河川・海岸の整備を進めます。

河川事業

280億0,656万円
(前年度当初比110.1%)

近年、頻発する浸水被害の解消を目的に、沼川では放水路を、巴川では遊水地の整備を進めます。坂口谷川では、「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づき、水門本体工事を実施します。また、弁財天川の昭和 water 門などにおいては長寿命化計画に基づいた保守点検や維持修繕工事を実施します。

海岸事業

36億4,457万円
(前年度当初比45.6%)

「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」の目標である「今後10年間で約8割の人的被害減少」に向け、海岸堤防の嵩上げ等を進めます。清水海岸では、三保松原の景観に配慮した海岸侵食対策として突堤の整備等を進めます。また、海岸侵食が著しい竜洋海岸等では、養浜等の対策を実施します。

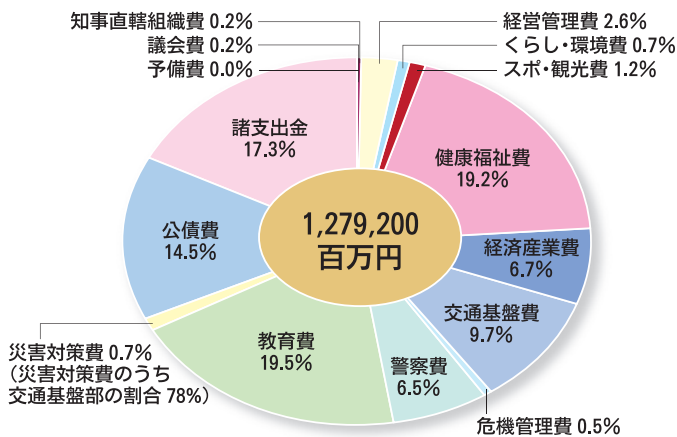
災害復旧事業

107億6,300万円
(前年度当初比162.4%)

台風や集中豪雨などの異常な天然現象で生じた河川や海岸などの公共土木施設の被害箇所の早期復旧を図ります。また、今後の風水害による施設被災についても迅速に対応していきます。令和元年東日本台風で被災を受けた公共土木施設につきましても、現在、災害復旧工事が着々と進行され、早期復旧に努めております。

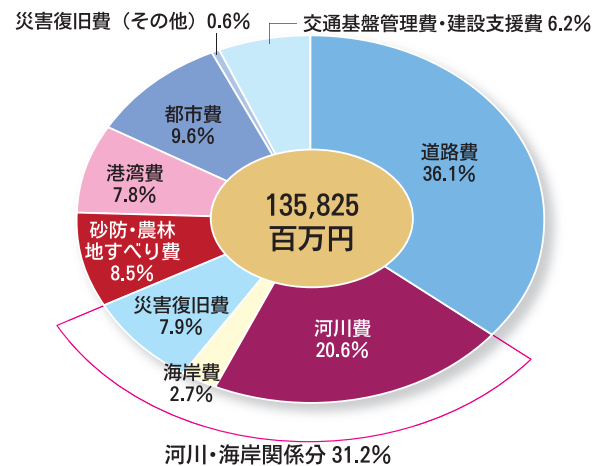
■静岡県予算

令和 2 年度当初

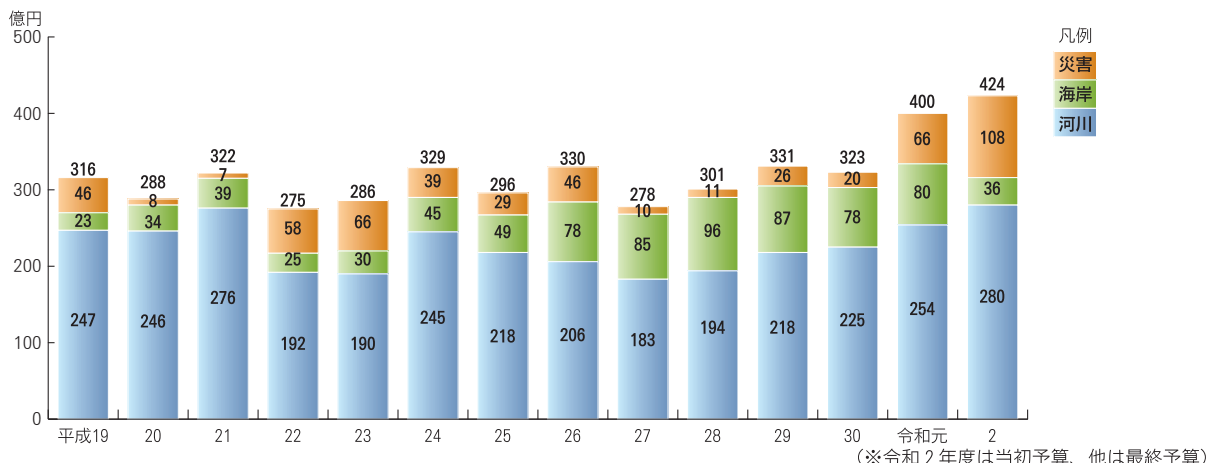


■交通基盤部予算

令和 2 年度当初



■河川・海岸関係予算の推移



令和2年度河川・海岸関係予算

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度 2当初(A)	元年度		伸び率(%)	
		元当初(B)	元最終(C)	A/B	A/C
河川砂防管理費	853,679	869,687	869,679	98.2	98.2
河川行政費	3,379	3,387	3,379	99.8	100.0
河川維持管理費	850,300	866,300	866,300	98.2	98.2
河川改良費	25,902,881	23,326,517	26,776,325	111.0	96.7
国庫補助事業費	14,449,000	14,288,000	17,723,156	101.1	81.5
河川関係国庫補助事業費	4,400,000	1,761,000	3,309,600	249.9	132.9
社会資本整備総合交付金事業費(河川)	8,661,000	11,165,000	13,880,820	77.6	62.4
河川等災害関連事業費	1,005,000	1,005,000	163,869	100.0	613.3
演習場地区河川事業費	383,000	357,000	368,867	107.3	103.8
県単独河川事業費	11,453,881	9,038,517	9,053,169	126.7	126.5
県単独河川事業費	4,401,700	4,805,700	4,805,700	91.6	91.6
準用河川等改修費助成	115,000	115,000	115,000	100.0	100.0
災害等予防保全緊急対策事業費(河川)	1,871,000	1,584,000	1,584,000	118.1	118.1
河川管理権限移譲費助成	18,332	14,666	36,999	125.0	49.5
佐鳴湖リフレッシュ事業費	4,216	5,600	5,600	75.3	75.3
緊急自然災害防止対策事業費(河川)	3,000,000	2,500,000	2,500,000	120.0	120.0
太田川ダム管理用発電設備運用事業費	23,633	13,551	5,870	174.4	402.6
水害減災対策支援事業費	300,000			皆増	
水災害対策プラン策定事業費	120,000			皆増	
津波対策施設等整備事業費(河川)	100,000			皆増	
県土強化対策事業費(河川)	1,500,000			皆増	
海岸費	2,769,575	7,124,375	7,119,503	38.9	38.9
国庫補助事業費	2,057,000	2,235,000	2,474,628	92.0	83.1
社会資本整備総合交付金事業費(海岸)	2,057,000	2,235,000	2,474,628	92.0	83.1
県単独海岸事業費	712,575	4,889,375	4,644,875	14.6	15.3
県単独海岸事業費	356,000	356,000	356,000	100.0	100.0
県単独特定海岸保全施設整備事業費	71,375	71,375	71,375	100.0	100.0
海岸漂着物等対策事業費(景観保全)	5,200			皆増	皆増
津波対策施設等整備事業費(海岸)		4,340,000	4,100,000	皆減	皆減
「静岡モデル」防潮堤整備促進 事業費	280,000	122,000	117,500	229.5	238.3
(河川海岸費 小計)	29,526,135	31,320,579	34,765,507	94.3	84.9
国直轄事業費負担金	2,125,000	2,125,000	4,313,292	100.0	49.3
国直轄河川事業費負担金	1,250,000	1,250,000	2,744,348	100.0	45.5
国直轄海岸事業費負担金	875,000	875,000	1,568,944	100.0	55.8
河川海岸費 計	31,651,135	33,445,579	39,078,799	94.6	81.0
過年災害土木復旧費	4,704,000	1,079,000	902,515	436.0	521.2
補助災害	4,704,000	1,079,000	902,515	436.0	521.2
補助災害土木復旧費	4,703,000	1,078,000	902,515	436.3	521.1
市町村指導監督事務費	1,000	1,000		100.0	皆増
現年災害土木復旧費	5,410,000	5,410,000	3,721,666	100.0	145.4
補助災害	5,330,000	5,330,000	3,600,666	100.0	148.0
補助災害土木復旧費	5,309,000	5,309,000	3,600,056	100.0	147.5
市町村指導監督事務費	21,000	21,000	610	100.0	3442.6
単独災害	80,000	80,000	121,000	100.0	66.1
県単独災害土木復旧費	80,000	80,000	121,000	100.0	66.1
国直轄事業費負担金	649,000	137,000	1,096,000	473.7	59.2
土木施設災害復旧費 計	10,763,000	6,626,000	5,720,181	162.4	188.2
合 計	42,414,135	40,071,579	44,798,980	105.8	94.7

河川事業費計	28,006,560	25,446,204	30,390,352	110.1	92.2
海岸事業費計	3,644,575	7,999,375	8,688,447	45.6	41.9
災害復旧費計	10,763,000	6,626,000	5,720,181	162.4	188.2

令和元年度の2月補正予算(国補正予算)について

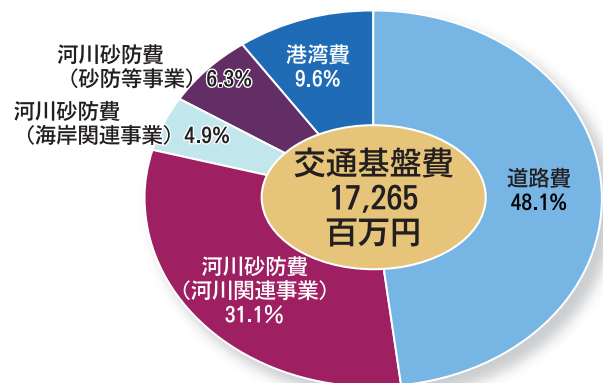
令和元年12月13日、令和元年度一般会計補正予算が閣議決定され、令和元年度補正予算が計上されました。

県としても、これに呼応した事業を、令和元年度2月補正予算に盛り込みました。

交通基盤部では、国補正予算分として172億6千万円余の増額補正を行い、このうち県河川事業として約45億6千万円、県海岸事業として約3億4千万円、これに国直轄事業の約13億円を加えた約62億1千万円を計上しております。

補正予算においては、河川、海岸において、自然災害リスクを踏まえた防災・減災対策を実施します。

経済対策の効果を早急に発揮させるとともに、事前防災・減災対策をより進め、安全・安心な生活基盤の確立を目指してまいります。



(単位：千円)

区 分	事 業 名	補正予算額
河川海岸関係 合計		6,215,000
河川関連事業		5,367,000
	社会資本整備総合交付金事業費(河川)	4,567,000
	国直轄事業費負担金(河川)	800,000
海岸関連事業		848,000
	社会資本整備総合交付金事業費(海岸)	348,000
	国直轄事業費負担金(海岸)	500,000

3 か年緊急対策と県土強靱化対策事業

近年、台風や豪雨等により激甚な災害が頻発していることから、従来の社会資本整備総合交付金事業に加え、平成30年度より創設された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の交付金を活用し、水害から命を守るインフラの強化を図っております。

主な対策として、樹木繁茂や土砂堆積による流下阻害箇所における樹木伐採、土砂掘削により流下能力の向上を図っています。また、洪水氾濫時の越水による堤防決壊までの時間を引き延ばすため、堤防天端を舗装することにより堤防を強化するなど、浸水被害の軽減に取り組んでおります。



樹木伐採、土砂掘削（逆川・掛川市）



堤防天端舗装（馬込川・浜松市）

このように交付金を活用した防災・減災対策を進めていますが、令和元年東日本台風（台風19号）では、対策の効果はあったものの、県内各地で家屋等の浸水被害が発生しました。

このため、さらなる事前防災対策を加速すべく、今年度から新たに県単独事業である「県土強靱化対策事業」を創設しました。本事業により、令和2年度から2か年で、堆積土砂等により流下能力が不足している河川において、緊急的に掘削を実施し、頻発化・激甚化する自然災害に対して安全・安心な地域づくりに努めてまいります。

水災害に対する減災対策の強化

マイ・タイムライン研修会

平成30年7月豪雨では、記録的な豪雨による洪水や土砂災害からの逃げ遅れによる被害により多くの人が犠牲になりました。これを受け、静岡県では、住民自らの判断で避難行動をとることにより、逃げ遅れを無くすため、「住民等自らによる避難行動計画（マイ・タイムライン）」の作成を推進しています。

説明会や研修会等の開催を通じて、市町に対して洪水ハザードマップやマイ・タイムラインの作成支援を行っています。令和元年度は、中部地区（5月31日）、西部地区（7月25日）、東部地区（2月7日）、河川協会（9月4日）、計4回の研修会を開催しました。今年度も引き続き、開催する予定です。



マイ・タイムライン研修会の様子

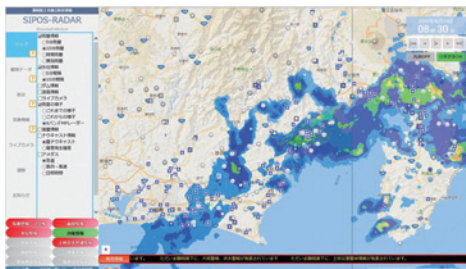
地域密着型防災情報 サイポスレーダー

県民の皆様が災害による被害の軽減や避難行動に役立てていただけるよう、平成15年から『サイポスレーダー』という名称で県内の防災情報をインターネットで発信しており、パソコンやスマートフォンからアクセスすることができます。

雨量や水位、ダムなどの静岡県観測情報、注意報、警報や市町別・時間毎の天気予報、気象レーダーや台風・地震情報などの最新情報を発信しています。また、静岡県各所に設置されたカメラから、河川や海岸のライブ映像も見ることができます。

昨年の台風第19号接近時には、一日に約23万件のアクセスを記録しました。昨年度のアクセス数は、256万件に達しています。

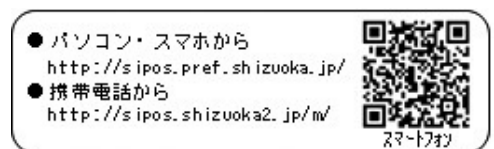
近年、異常気象などによる豪雨災害が増加しています。市町が作成するハザードマップと、水位・雨量・気象予報等の防災情報を確認し、大雨に対して早めに備えましょう。



サイポスレーダー画面



河川カメラ映像



水災害対策プランの策定

激甚化する水害に対して、効果的な減災対策を講じるため、浸水被害が頻発する県下14地域を対象に「水災害対策プラン」を策定し、気候変動と各地域の特性を踏まえた総合的治水対策を推進してまいります。

長期対策では、気候変動による将来予測を考慮した降雨量に対して、河川対策や流域対策のハード対策と、避難対策等のソフト対策を組み合わせた効果的な減災対策を実施します。

短期対策では、長期対策を見据えたうえで、令和元年東日本台風等により近年浸水被害が発生した地区等を対象に、床上浸水被害の解消等の目標を設定し、概ね5～10年間で実施するハード・ソフト対策を実施します。

	実施地域
令和2年度 【8地域】	狩野川中流域、大場川左岸下流域、石脇川・高草川、小石川・黒石川、焼津市南部、坂口谷川、馬込川、安間川
令和3年度 【6地域】	沼川・高橋川、伝法沢川・和田川・小瀬井川、江尾江川、袋井市中部、仿僧川・今ノ浦川、浜松市南部

実施地域



浜松市沿岸域防潮堤の竣工

浜松市沿岸域では、篤志家による寄附金を原資として、レベル1津波高を超える津波に対して被害の最小化等を図るため、天竜川河口から浜名湖今切口までの約17.5kmにわたり、標高13m～15mの防潮堤の整備を進め、令和2年3月末に本土工が竣工しました。

本防潮堤は平成26年3月に着手し、県が防潮堤整備、浜松市が土砂の確保や地元調整の役割を担い、関係者一丸となって事業を進めてきました。引き続き、馬込川河口部の津波対策として水門を整備することにより、想定されるレベル2津波による宅地の浸水面積を約8割、宅地の浸水深2m以上の浸水面積を98%低減する効果が見込まれます。

防潮堤の構造は、台形形状のCSGを中央に配置し、周囲を盛土や砂で覆うことにより、想定される最大級の地震・津波に対して安定した構造であり、海岸防災林や砂浜の再生、湿地帯の保存等、環境面や景観面にも配慮しています。

平時には防潮堤の天端を散策して遠州灘の白砂青松の景観を楽しむなど、憩いの場としてもご利用いただけます。



浜松市南区白羽町地先



浜松市西区舞阪町地先

馬込川治水対策の本格始動（補助事業に新規採択）

二級河川馬込川は、浜松市の中心市街地を流れる都市河川であり、流下断面が十分でないことから、浸水被害が頻繁に発生しております。特に、馬込川支川の高塚川流域では、地形的な要因もあり、近年も平成16年11月、平成26年10月、平成27年9月の豪雨で浸水被害が発生しています。さらに昨年度の令和元年7月22日の豪雨では、床上13戸、床下14戸の浸水被害が発生しております。

現在、平成28年度に策定した「高塚川流域浸水対策アクションプラン」に基づき、県と浜松市が連携して河川改修や貯留施設整備等の浸水対策に取り組んでいます。

馬込川は、令和2年度から補助事業の大規模特定河川事業に新規採択され、高塚川合流点までの河道掘削を令和7年度までに実施する予定です。

今後も浜松市と連携した浸水対策に取り組むことにより、地域の安全・安心の向上に努めてまいります。



馬込川事業位置図



河道掘削施工状況

坂口谷川水門の早期完成を目指して（補助事業に新規採択）

牧之原市と吉田町を流れる坂口谷川は、平成25年6月に公表された「静岡県第4次地震被害想定」において、南海トラフ巨大地震等が引き起こす津波の影響により、河口周辺で津波による甚大な被害が発生すると想定されています。この津波被害を軽減する目的として、河口部に津波対策水門を新設する計画を位置付けた「坂口谷川水系河川整備計画」を平成29年1月に策定しました。

この計画に基づき、平成29年度から坂口谷川水門の建設に着手し、第1期施工である右岸側水門本体工と水門扉体（ゲート）が今年度完成する予定です。引き続き、第2期工事の左岸側水門本体工と水門扉体（ゲート）に着手する計画であり、着実に整備を進めてまいります。

さらに、今年度から国土交通省が進めている榛原海岸の整備と連携した津波対策を行うこととして、補助事業である「事業間連携河川事業」に新規採択されたことにより、重点的な予算確保が可能となり、より一層の事業進捗が見込まれます。引き続き、流域住民の悲願である坂口谷川水門の早期完成を目指し整備を進めてまいります。



坂口谷川水門 建設位置



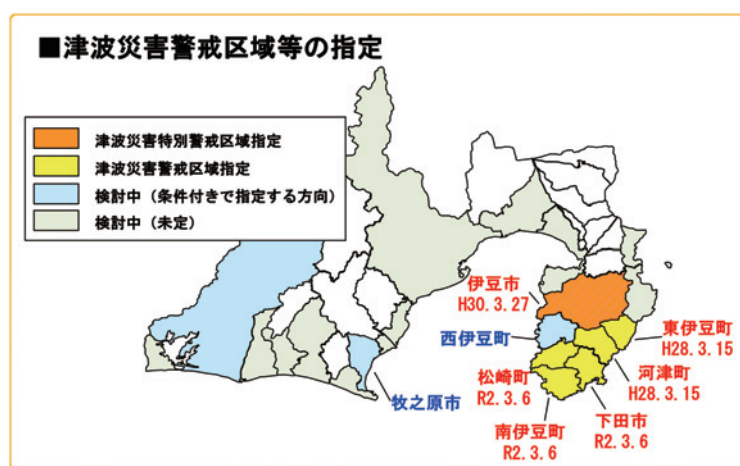
坂口谷川水門の建設状況

津波防災地域づくりの取組の紹介

静岡県では、津波防災地域づくりに関する法律に基づき、津波から地域住民を守る対策を進める上で有効な、警戒避難体制等のソフト対策を強化する「津波災害警戒区域」と要配慮者が使用する施設を地震や津波に対して安全なものにする「津波災害特別警戒区域」の指定を進めています。

県は、関係市町に対して区域指定の検討を依頼し、指定の意向が示された市町から順次手続きを進めています。平成28年3月15日に東伊豆町と河津町で「津波災害警戒区域」の指定を、平成30年3月27日に伊豆市で「津波災害警戒区域」と「津波災害特別警戒区域」の指定を行いました。伊豆市で指定した「津波災害特別警戒区域」は、全国初の指定となります。さらに令和2年3月6日には、下田市、南伊豆町、松崎町で新たに「津波災害警戒区域」の指定を行いました。

今後も、指定した市町の事例を紹介する等、地域の特性や市町の意向を尊重しながら、指定が進むよう取り組んでまいります。



津波災害警戒区域等の指定状況



説明会の様子（松崎町）



説明会の様子（下田市）

太田川ダムで管理用小水力発電を開始しました

県が管理する太田川ダム（周智郡森町）では、ダムから放流する水を利用して発電を行う「管理用小水力発電設備」の整備を県企業局との共同事業により平成29年に着手し、令和元年11月に完成、その後試験運転などを経て令和元年12月26日から発電を開始しました。

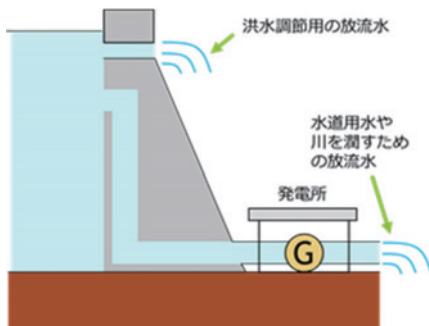
発電により、災害時におけるダム管理用電源の確保、再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素排出量の抑制及び余剰電力の売電によるダム管理コストを縮減できます。

令和元年12月から令和2年3月までの期間において、約2.3万世帯分の消費電力に当たる約27万kWhの電力を発電し、約150 tの二酸化炭素の排出を抑制しました。

今後もダムの適切な維持管理に努めてまいります。

【管理用小水力発電設備の諸元】

項目	数量等
最大出力	199.6kW
最大使用水量	0.75m ³ /s
有効落差	36.84m
年間可能発電電力量	127.8万kWh
水車形式	横軸フランシス水車
発電機	三軸同期発電機



管理用小水力発電イメージ



発電設備建屋



水車・発電機

水難事故防止啓発活動 えんじょいリバ〜

近年、県民の皆様が川に親しむ機会が増えている一方、局地的豪雨などによって急激に河川が増水し、河川に親しんでいる人々の安全が脅かされる事態が発生するおそれが高まっています。

そこで、県や協会では、河川や河川内の親水施設における水難事故防止に向け、啓発用のリーフレット「えんじょいリバー」を作成し、公共機関での情報提供やイベント等での配布を行うとともに、利用者の多い河川付近の施設に配備することにより、広く県民に周知を図ります。

また、教育委員会と連携して、子供たちに川の特性や危険を察知する感覚を身に付ける啓発を進めていきます。



表面



裏面

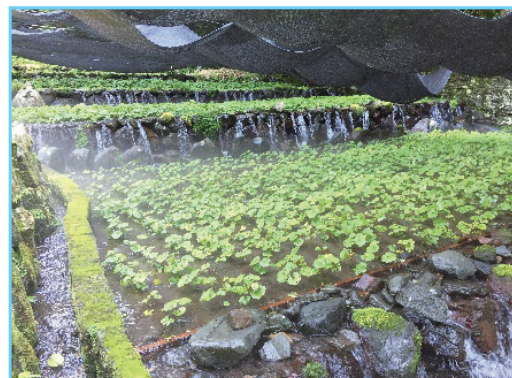
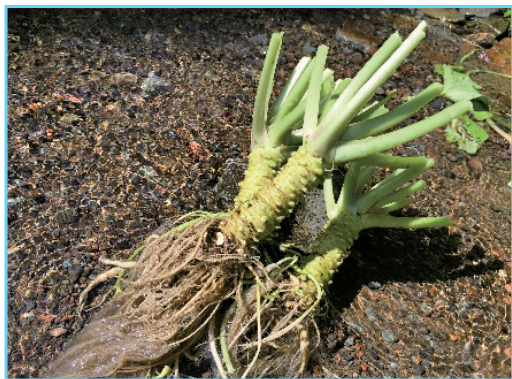


長 泉 町

一級河川桃沢川の上流部に位置する愛鷹山水神社の直下に、畳石式のワサビ田が10段ほど棚田状に連なっています。愛鷹山水神社は、山奥にありながら龍神を祀り、海洋渡航者や漁師などの信仰を集める「水」に関わる神秘的な神社であり、その地に隣接する場所から湧き出でる水で栽培されたわさびはとても神聖なものです。また、わさびは「山葵」とも書きますが、「葵」は徳川家の御紋であり、かつてこの地が徳川家の家臣が集団移住した土族集落であった

との歴史的背景からも、何か縁を感じるものです。

ここで栽培されるわさびは「真妻」という最高品種であり、欧米における和食ブームから海外でも注目される食材として、また町の新たな観光特産品として生産されていくことを期待しています。



【お問合せ先】長泉町建設計画課 TEL：055-989-5521

南伊豆町

伊豆半島最南端の南伊豆町を流れる青野川は、松崎町境に近い蛇石地区から、白砂青松で知られる「日本の渚100選」弓ヶ浜横の河口までの延長17.2km、流域面積71.3km²の二級河川です。

下賀茂地区から日野地区にかけては、早咲きの河津桜が、兩岸4.2km、約800本植えられ、毎年2月10日から3月10日にかけて開催される「みなみの桜と菜の花まつり」では、菜の花畑とともに多くの人々の目を楽しませてくれます。

また、日野地区から下流は、染井吉野が植えられ、開花時期には、散策だけではなく、「お花見シーカヤック」などが行われています。

この青野川は、町による年3回の草刈りや地域住民による河川愛護活動、各種ボランティア活動などで保全されています。



お花見シーカヤック



みなみの桜と菜の花まつり

【お問合せ先】南伊豆町地域整備課 TEL：0558-62-6277

岩手県(釜石)災害派遣職員レポート「復興の取組み」

静岡県土木防災課(岩手県派遣) 主査 竹川 清彦※

昨年度、片岸海岸の防潮堤が完成し、今年度は、静岡県から岩手県沿岸広域振興局へ5名の職員が派遣されています。

我々は土木部復興まちづくり課に所属し、釜石市の甲子川水門、鶴住居川水門、そして大槌町の大槌川水門と小槌川水門を、東京都派遣職員及び岩手県職員の方々とともに担当しています。

来年で東日本大震災から10年を迎える節目の年を迎えようとしており、岩手県では交通ネットワークやまちづくりなどの復興が目に見える形で急速に進んでいます。我々が担当する水門も令和3年3月に完成を予定しているため、まさに工事も終盤に差し掛かり、最盛期となっております。

昨年の片岸海岸完成式典では、これまでの支援に対する感謝の会が開催され、派遣に対する謝辞や感謝の意を表す銘板の除幕が行われました。

復興のための人の繋がりや絆の大切さを再認識するとともに、今年度完成に向けて身を引締めて職務に尽力していきたいと感じています。

※令和2年度派遣の他メンバー

富田 敬信・植松 大樹・中谷 恭右・石橋 稜大



昨年完成した片岸海岸防潮堤（右上が銘板）



二級河川甲子川水門（水門の上屋工事を実施）

岩手県(山田町)災害派遣職員レポート「被災地の復興のために」

静岡県土木防災課(岩手県山田町派遣) 主査 加藤 晴久※

静岡県は平成24年度から山田町水産商工課へ災害派遣を実施しており、今年度で9年目となります。本年度も2名の土木技術職員が派遣され、延べ25人の静岡県土木技術職員が山田町の復旧・復興に携わっています。

私たち派遣職員が担当している事業は、町営の織笠漁港、小谷鳥漁港及び織笠漁港海岸の災害復旧・復興事業になります。災害復旧事業では、令和元年11月に全長約1.4kmの織笠漁港海岸の防潮堤が完成しました。今まで携わってきた皆の努力もあり、町内にある5漁港海岸のなかで最初に完成することができました。また、町内で最初となる遠隔化システムを導入した織笠漁港陸間、令和元年12月に運用を開始しました。その他、織笠漁港では、復興交付金事業等で漁港施設用地の嵩上げや旧防潮堤の撤去等を実施し、漁港の利便性の向上を図っております。

町の復興計画では、本年度が復興の最終年度になります。しかしながら、施設の復旧、高台移転及び区画整理事業が完了していく一方で、震災により町外に出た住民が戻ってこないことや、基幹産業でもある漁業に従事する方が年々減少していくなど、施設の復旧とは別に、もとの山田町への復興には難しい課題が残っていると身をもって感じています。

復興の最終年度を、山田町の皆様と一丸となって、最後まで尽力していきたいと思っております。

※令和2年度派遣の他メンバー： 木下 紘輔



織笠漁港海岸：織笠防潮堤完成



織笠漁港：漁港用地嵩上げ完成

熊本県災害派遣職員レポート「創造的復興に向けて」

静岡県土木防災課(熊本県派遣) 主任 水野 雄一

平成28年4月に発生した熊本地震災害の復旧事業のため、今年度も熊本県県央広域本部土木部災害復興課に静岡県から1名の職員が派遣されています。

静岡県から派遣されている職員は、災害復興課に配属され、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町(上益城郡平坦4町)の震災復興業務を担当しています。

管内の一級河川緑川水系の秋津川、木山川においては被害が大きく、地震による広域地盤沈下の影響で数十kmに渡り築堤護岸が沈下しました。本年度は、被災した橋梁の掛替え工事、昨年度に実施した橋梁復旧工事取合い部の護岸工事や仮設道路の撤去・復旧等を中心に行っています。

地震発生から4年が経過し、復興工事の大部分が完了しました。5年目となる本年度は、担当するすべての工事を完了させ、熊本県の復興が少しでも早く進むよう、貢献してまいります。



秋津川堤防 (左:被災直後 右:復旧後)

広島県呉市災害派遣職員レポート「一日も早い復旧・復興に向けて」

静岡県土木防災課(広島県呉市派遣) 主査 中戸川 達矢*

平成30年7月の西日本豪雨で甚大な豪雨被害を受けた広島県呉市の復旧・復興のため、平成30年9月から、静岡県職員が広島県呉市に派遣されており、今年度も2名の職員が広島県呉市に派遣されています。

私たちは、呉市でも特に被害の大きかった川尻・安浦の2地区を管轄している川尻安浦土木出張所に派遣されており、呉市管理の道路や河川の災害復旧事業を担当し、様々な調整や発注業務に従事しています。

今年は、平成31年3月に策定された呉市復興の3ヵ年計画の2年目となり、さらなる復旧・復興の加速化が求められています。完成した復旧工事の現場に立ち会うたび、復旧・復興が進んでいることを実感しますが、資材や労働力の不足による入札不調など、被災地特有の課題に直面し、復旧工事に着手できていない箇所も多くあります。これらの課題に着実に対応し、呉市の一日も早い復旧・復興を目指し、呉市職員や地域の皆さんと一丸となって業務に励んでいきたいと思っています。

※令和2年度派遣の他メンバー：山梨 達也



被災後(平成30年7月)



復旧後(令和2年2月)

「第19回しずおか川自慢大賞」が開催されました

第19回しずおか川自慢大賞が、令和2年2月22日(土)に静岡市の静岡市民文化会館で開催されました。「イイね! その川 川でつながる地域(みんな)の元気!! もっと×2 川で遊ぼう!」をテーマに、県下の川や水辺を舞台に活動する8の団体が、愛する水辺について自慢(発表)しました。

しずおか川自慢大賞の選考は、会場に集まった皆さんが審査員となり、各々が応援したい活動団体に「イイね!」投票する方法で行いました。今回は『静岡北高等学校科学部水質班』の「水と石ころが作る未来のエネルギー」が川自慢大賞を受賞しました。

第20回しずおか川自慢大賞は、今年度も静岡市内にて開催する予定です。水辺が好きな仲間同志、見たり聞いたり情報交換もできる楽しい場となっておりますので、どうぞ遊びに来てください。河川や水辺をフィールドに活動をされている団体・個人の皆様の積極的な御参加、御来場をお待ちしております。

【お問合せ先】 しずおか川自慢大賞実行委員会 TEL: 054-248-5678



静岡北高等学校の発表状況



中薬科小学校の発表状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止にご尽力されている医療関係者をはじめとした多くの皆様から感謝申し上げます。

河川施設周辺等において密集状態が発生する恐れのあるバーベキュー、川遊び、磯遊び、サーフィンなどでの水辺利用をお控えいただくため、河川・海岸施設等やそれらに隣接する駐車場は、ゴールデンウィークを中心に市町と連携して閉鎖とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の早期終息を図るため、屋外でも少人数で混雑を避け、人と人の距離をとっていただきますようお願いいたします。終息したのちには、多くの方々が県下各地の水辺の魅力を改めて体感していただくことができるよう心よりお待ちしております。



くんま水車の里（浜松市）

ごあいさつ

4月に着任しました、静岡県河川砂防局長の光信紀彦でございます。

新型コロナウイルス感染症に立ち向かい働く医療従事者の皆様に敬意を表するとともに、隔離、入院されている方の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

昨年発生した令和元年東日本台風は、昭和33年の狩野川台風を上回る豪雨や記録的な高潮により県内各地で大規模な家屋浸水や施設等の被災を引き起こしました。今後、気象変動の影響による風水害の頻発化・激甚化に対応するため、できる限り被害の最小化を図るよう、ハード・ソフト両面の防災・減災対策がより一層必要になってきております。

県では、河川の樹木伐採や堆積土砂の撤去等のハード対策を行う「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が一定の事業効果をもたらした一方で、浸水被害等が生じている事態を重く受け止め、今年度から県土強靱化対策事業を新たに創設し、事前防災対策の加速化を図ってまいります。

また、令和元年東日本台風による被害を踏まえ、浸水被害が頻発する地域を対象に総合的な治水対策を推進するための「水災害対策プラン」の策定を進めるとともに、県管理河川すべてにおいて、確実な避難に役立てていただくよう、水害リスクを示す洪水浸水想定区域図の作成を行ってまいります。

今年度は新型コロナウイルスへの対応の中で、災害への対応も行わなければならないと思われまふ。これまでにない難しい状況ではありますが、会員の皆様とともに、県民や関係機関の御理解と御協力をいただき、緊急時には確実に対応できる体制を整えるとともに、防災・減災対策も着実に推進してまいります。



静岡県河川協会事務局より

- ◇毎年御好評をいただいております静岡県河川協会県外視察研修会を、令和2年度は10月中旬に予定しております。多数の御参加をお願いいたします。
- ◇事務局では皆さまからの御意見をお待ちしております。紹介したい事例、イベントなどございましたら、事務局までお気軽に御連絡ください。
- ◇また、清流表紙に掲載する静岡県内の水辺の写真を募集しております。詳しくは下記宛にお問い合わせください。

【連絡先】 〒420-8601
静岡市葵区追手町9番6号
静岡県河川協会（静岡県交通基盤部河川砂防局内）
TEL: 054-221-3032 FAX: 054-221-3260
E-mail: kasenk_s@yahoo.co.jp

公益社団法人 日本河川協会 個人会員募集のお知らせ

公益社団法人 日本河川協会では個人会員の募集をしております。
詳細につきましては下記宛にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先／公益社団法人 日本河川協会
〒102-0083
東京都千代田区麹町2丁目6番5号
麹町E.C.Kビル3階
TEL: 03-3238-9771
FAX: 03-3288-2426